

金曜ビラ

発行2021年(415号)

7月 9日

次回は7/21

もう原発やめよう!

スペースたんぽぽ

学習会・デモの日程



たんぽぽ舎

TEL 03-3238-9035

FAX 03-3238-0797

Mail: nonukes@tanpoposya.net

〒101-0061

東京都千代田区神田三崎町
3-1-1 高橋セーフビル1F

原発廃止ひと筋32年・たんぽぽ舎は皆さんの会費とカンパで運営されています。会員になられる方歓迎!

(たんぽぽ舎の会費は6ヶ月6000円、月1回ニュース発送) 郵便振込 00180-1-403856 (加入者名:たんぽぽ舎)

7月16日(金)「原発いらない金曜行動」(首相官邸前) 第2回

18:30より19:45

多くのご参加を!

6/18(金)第1回目の「原発いらない金曜行動」は450人以上の参加で開催されました。熱気のある集会になりました。「毎月第3金曜日」に開催。8月は20日(金)です。

「フクシマは終わっていない!」「原発いらない!」「放射能汚染水を海に流すな!」

「老朽原発再稼働するな!」「東海第二原発うごかすな!」...

7/24(土)学習会にご参加を!

東海第二原発運転差し止め水戸地裁判決 今後の原発裁判に向けて

講師:後藤政志さん(元原子炉格納容器設計者)

上岡直見さん(環境経済研究所代表)

13:30~17:00

参加費:800円

要予約

7月の学習会・行動案内 参加歓迎!

(学習会は「スペースたんぽぽ」)

7/12 (月)	学習会 講座	「社会運動は社会を変えられるか~ 戦後76年を社会運動を通じて顧みる」 8回連続講座 第3回「高度成長期の運動」(大幅賃上げ、公害反対・環境保護) 講師:岩垂 弘さん 14:00~16:30 参加費:800円
7/13 (火)	院内 集会	IAEA「深層防護第5層」の実効性を問う 規制委・内閣府は3.18水戸地裁判決をどう受けとめたか? 13時~17時(省庁ヒアリング:14時~16時) 場所:参議院議員会館101会議室(1階) 出席予定:内閣府+原子力規制庁+経済産業省【依頼中】 紹介議員:衆議院山崎誠議員 主催:再稼働阻止全国ネットワーク TEL 070-6650-5549 通行証配布12時45分
7/16 (金)	抗議 行動	「原発いらない金曜行動」(首相官邸前) 18:30より19:45 事故原発放射能汚染水を海へ流すな! 東海第二原発を動かすな! 賛同人募集中! ※8月は20日(金)、9月は17日(金)、10月は15日(金)

6/29東京電力株主総会が開催 出席株主は3・11震災以後最小の269人 「脱原発・東電株主運動」提案への賛同の波は 徐々に広がりを見せる

山崎久隆（たんぼぼ舎共同代表）

◎ネット中継が初めて行われた株主総会

東京電力ホールディングスの株主総会が6月29日に開かれた。

東電株主総会において「脱原発」を中心とした株主提案をしてきた「脱原発・東電株主運動」は、1989年に発足し1991年から株主提案権を取得して毎回、株主提案を行ってきた。

今回の総会でも8議案を提案している。

今年は東京オリンピックの競技会場があちこちにある江東区有明地域の東京ガーデンシアターで実施された。ホールの1階だけでも700名以上収容できるが、269名しか参加しなかったため閑散とした雰囲気だった。

しかしインターネット中継が行われたことで、実際に総会を「見た」人はそれなりにいたのではないかと。

株主限定とはいえ、特にセキュリティがあったわけでもないようで、誰でも視聴できたのではないと思われる。確認はしていないけれども。

いつもは行われる冒頭の20分近い一方的な「営業報告」は全て省略されたのは良かった。しかし10名からの113問の事前質問を、たった15分で一括回答したことは問題だ。

残念ながら「事前質問への回答」は、年々希薄になっている。時間は2時間10分だった。

◎昨年度の東京電力の姿

福島第一原発事故を起こした当事者にして、復興を最優先すべき会社が、柏崎刈羽原発の再稼働に前のめりになった挙げ句に、工事未了の箇所を隠して「完了した」と虚偽の発表をし、さらにセキュリティシステムとしてはテロ対策施設と位置づけられ、特定重大事故対処等施設と同様な重要度を持つはずの「周辺監視システム」の監視カメラが故障していたのに長期間にわたり修理もしないでいたことが規制委員会に発覚したことで、「核燃料の移動禁止処分」という形式で事実上の運転禁止処分を受けたことなど、原子力の現場では一年間で極めて重大な事件を引き起こしていた。

再稼働を許可した後、保安規定を合格させた直後に発覚した事件によりいわば「メンツを潰された」規制委が激怒した結果、少なくとも1年以上再稼働は出来ない状況になっていった。

これは東電の再建計画に重大な影響を与えた。

3月31日には出すはずだった、新しい総合特別事業計画も出せない状況で株主総会を迎えざるを得ない事態になった。

その上、総会直前の6月26日には、東電エナジーパートナーによる「不正勧誘事件」により、詐欺まがいの営業に対し消費者庁から半年もの電話営業活動禁止処分という、電気を売る会社にとっては利益を喪失し他社との競争にも後れを取る行政処分を受ける事態になった。

今期の売り上げには直接影響はないかもしれないが、来期は深刻な損失計上を覚悟しなければならない緊急事態である。

これらも全て「身から出たさび」なので、冒頭から東電は謝罪に次ぐ謝罪の総会になり、とても「強引な議事進行」などできる状況にはならなかった。

◎議事の結果は

議事では、新役員の選任が行われ、小早川智明社長ら

取締役10人が再任、新たに経済同友会の代表幹事を務め

た小林喜光氏を含む取締役3人が新任された。

「株主216名」が提出した議案は全て否決されたものの、一部には高い賛同率を得たものもある。その賛否一覧が東電により公表されている。

【2号議案から9号議案の賛成率】

第2号 2.41% アルプス処理水（汚染水）処分の協議委員会設置

第3号 2.28% 柏崎刈羽原子力発電所の再稼働中止

第4号 2.08% 福島原発事故に関わる賠償責任の貫徹

第5号 4.01% 事故収束作業に従事する作業員の健康管理

第6号 2.27% 福島原発事故に関わる全ての資料の保存・記録・管理と公開

第7号 2.19% 大間原発の受電契約破棄

第8号 2.39% 水力発電所の活用

第9号 14.37% 役員報酬の個別開示

◎一部の議案では賛同も増える

第9号議案、役員報酬の個別開示は14%を越える賛同を得ていて、賛同数が極めて大きいことが分かる。国（支援機構）を除けば3割に近い数だ。株主運動の成果は徐々に出ていていると言える。この議案は昨年出されており、その時より賛成の割合は増えているという。

東電の場合、個人株主は18%程度とされているので、そのほとんどが賛同した数値になる。法人株主の中に賛同者があつたかもしれないから、これは想像だが。

なお、最大株主は「原子力損害・廃炉支援機構」つま

り国で、54.74%を保有している。

1号議案は会社提案の取締役選任議案。反対率は0.89%から5.36%で、最も高かったのは来期から取締役会長に就任予定の小林喜光氏。反対率の高い人に新川麻氏があり、5.52%と小林氏に次いで「支持されていない」ようだ。西村あさひ法律事務所の弁護士で、1965年生まれと比較的若い。さらに女性だということで反対票が多いのだとしたら、それはそれで不当なことである。

◎汚染水海洋放出も強行しない？

さらに、取締役と株主が議場で行った質疑応答では、福島県漁連と交わした、「合意無き場合は海洋放出しない」との約束を否定しなかった。

さらに原発の再稼働を求める株主の意見に対しても、「だから柏崎刈羽原発の再稼働を」とはさすがに言えなかつ

た。理解を得て、という言葉をつけなければならないこと、さらに信頼を回復しなければ先に進めないとの見解も表明し、「再稼働の推進を」の回答を期待したであろう株主には期待外れだっただろう。

◎これからも東電への追及を

確かに「敵失」で柏崎刈羽原発再稼働の動きは止まったが、このまま手をこまねいていたら一年あまり後には再稼働へと再始動する。これを止めるためには、地元と連携した強い世論の醸成が必ず必要だ。

さらに、汚染水放出についても強引に進めることは困難になっている。

株主総会当日に開かれた政府による意見交換会では、福島県の森林組合連合会の田子英司会長が「安全が理解されないままの海洋放出がなされれば再びフクシマが思い起こされることを懸念している」（テレビュー福島6/29）と反対意見を述べるなど、反対の声はますます広がり続けている。

東電の汚染水対策をまともな方向に変えさせなければ

ならない。

株主総会では株主提案議案が承認されるような、目に見えた成果は見えにくい。

しかしこれは徐々にボディブローのように効いてくるはずである。実際に、株主提案を行った議案の内容が、否決されはしても何年か後に会社により実行された例もある。特に個別役員報酬の開示は、今では多くの企業で実施されている。

コロナの影響があつたとしても、株主総会をインターネットで公開せよと要求してきたのは、私たち株主運動だったことも事実だ。それが今回は実現した。

このような影響力を使い切れるかどうか、こちら側の意志と運動の強化が決め手になるろう。

7月～8月の学習会・行動案内 参加歓迎！

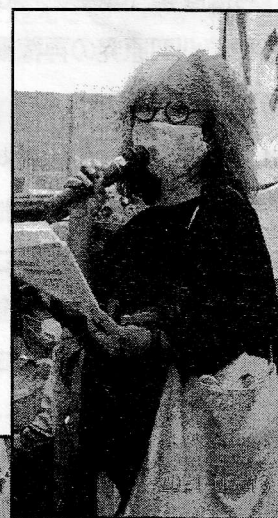
(学習会は「スペースたんぼぼ」)

7/24 (土)	学習会 講座 No692	東海第二原発運転差し止め水戸判決 今後の原発裁判に向けて 講師：後藤政志さん(元原子炉格納容器設計者) 上岡直見さん(環境経済研究所代表) 13:30～17:00 参加費：800円 予約必要です
7/27 (火)	学習会 講座	廃止をめざして！とことん学ぼう土地規制法とはなんだ？ 講師：馬奈木巖太郎弁護士(参議院内閣委員会参考人・ 福島原発事故生業訴訟弁護団) 18:30～21:00 参加費：800円 予約必要です
8/4 (水)	抗議 行動	とめよう！東海第二原発20年運転延長・再稼働許すな！ 日本原電本店抗議行動 (JR秋葉原駅昭和通り出口より徒歩7分) 時間 17:00～18:00(夏時間です) 主催:とめよう！東海第二原発首都圏連絡会/協力:再稼働阻止全国ネットワーク
8/4 (水)	抗議 行動	東電は原発事故の責任をとれ「第95回東電本店合同抗議」 時間 18:45～19:45(夏時間です) よびかけ:経産省前テントひろば/たんぼぼ舎 賛同:東電株主代表訴訟など139団体

原発いらない金曜行動
第1回6月18日(金)首相官邸前

6/18(金)第1回
「原発いらない金曜行動」
一写真紹介一

◎発言する落合恵子さん⇒



↓◎オープニングは勇壮な多摩川太鼓



◎450名の参加者の一部

